

船上におけるスマートフォンの使い方について

国土交通省海事局
安全政策課

第1回分科会におけるアプリの使い方に関する意見

第1回分科会では、アプリの使い方に関する意見が多数出された。

- スマートフォンの画面を見ながら船を操船するわけにはいかないのではないか
- どのようにして警告を伝えるのか
- 位置情報を送ってこない船もいることが前提となる
- マナー(使い方)についてどうすべきか
- 船上でスマートフォンを船長が使っている状況を想定すべき

本分科会で28年度内に策定しようとしている「船舶におけるスマートフォンアプリ活用のためのガイドライン」は、アプリ開発者向けのものであることから、別途、ユーザー向けに、アプリの使い方・注意点をまとめたガイドブックを作成することとする。

船舶におけるスマートフォンアプリ活用のためのガイドライン

【対象】

アプリ開発者

【目的】

開発者が守るべきアプリの基本仕様、運用ルールを示す

船上におけるスマホの使い方ガイドブック(仮称)

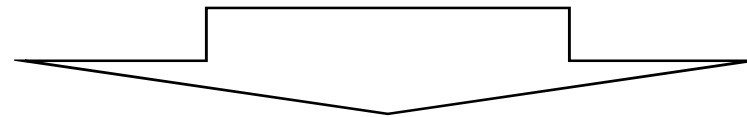
【対象】

アプリユーザー

【目的】

安全な使い方や注意点を情報提供し、スマホの適切な使用を促す

- 近年のスマートフォンの急速な普及に伴い、船舶の航行を補助するアプリが出現。
- 現にアプリが一般に使われている以上、ユーザーにできる限り安全に使ってもらうことが必要。



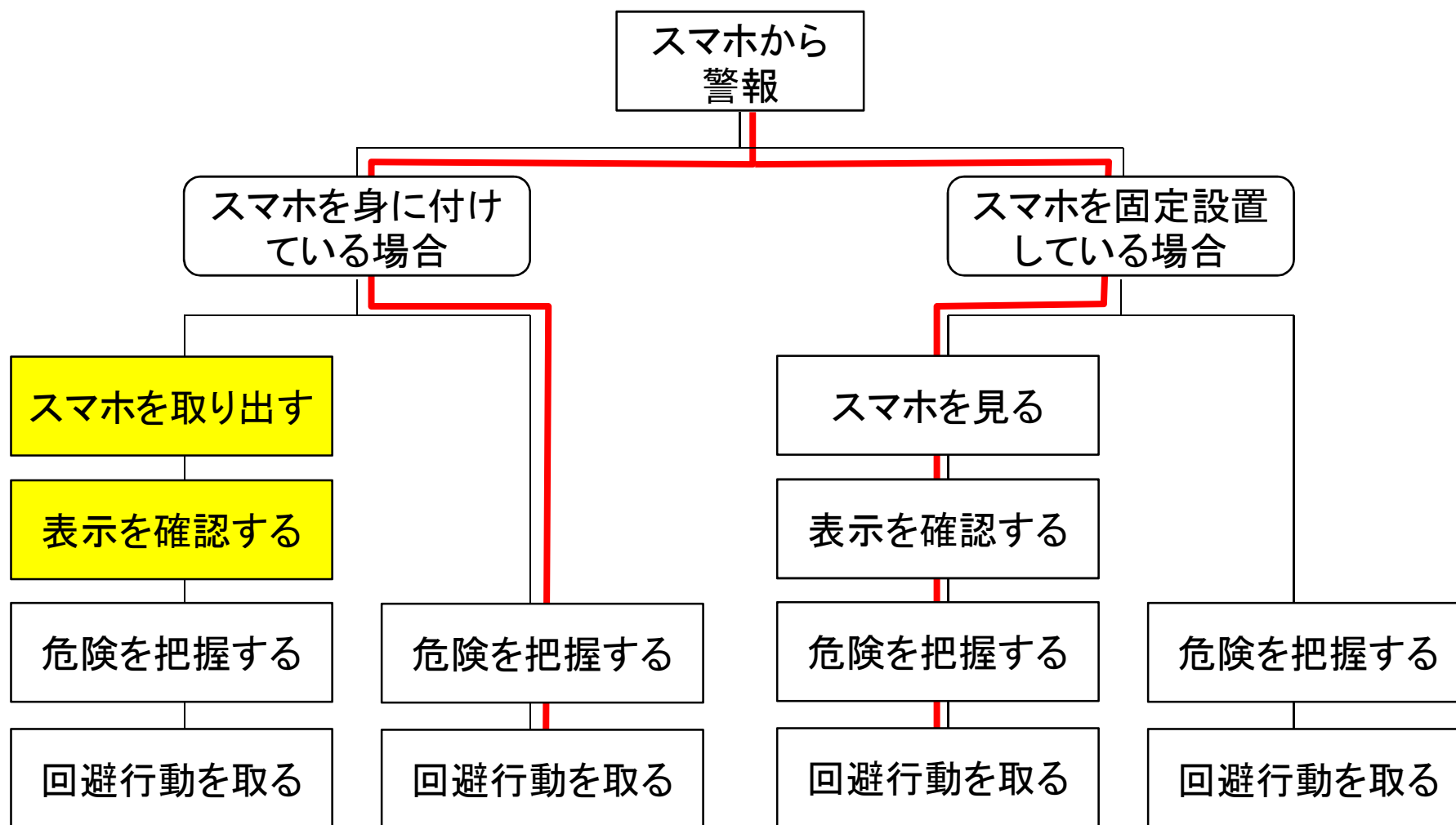
ガイドブックの目的

- 「船舶におけるスマートフォンアプリ活用のためのガイドライン」に沿ったアプリを前提として、安全な使い方や注意点を情報提供し、スマホの適切な使用を促す。
- 追加情報として「ガイドライン」に適合するアプリを紹介し、安全なアプリの普及を促進する。

留意点

- ガイドブックによりユーザーの使用方法を限定することは困難であるため、スマホが使われ得る状況ごとに、なるべく安全な使い方・注意点を示す。
- ユーザーに興味をもってもらうため、「禁止事項」「注意事項」を列挙するのではなく、読んでプラスになる内容を簡潔に示し、気づきを与えることを主眼に置く。

1. スマホの便利な機能
2. スマホの役割
3. スマホの安全な使い方
 - (1) 身に付けている場合
 - (2) 固定している場合
4. スマホを使うときの注意点
5. スマホアプリの紹介



スマホを操作している間に衝突・乗揚事故に至る恐れ

操作せず目に入るため、見るなどということは現実的でない